



県北教育事務所 社会教育だより

つながれ KENPOKU

令和4年12月21日 発行

今年度下半期の公民館訪問第2弾として2つの公民館の取組をご紹介します。

公民館訪問

11月9日（水）岩代公民館 11月29日（火）大玉公民館

【岩代公民館】

地域の人材をフル活用しています！



各講座において、できるだけ地域の方に講師をしてもらえるように人材発掘に努めています。また、地域の「人」「もの」「こと」に触れることで地域のよさを知ってもらおうと工夫して取り組み、「男の講座」では菓子処まつもとの松本克久氏を講師に招き、水まんじゅう作りを企画・実行しました。事業内容は岩代公民館のホームページに詳しく載っていますのでぜひご覧ください。

【大玉公民館】

大玉村の将来を担う次世代のリーダーを育成しています！



世代を超えたコミュニケーションの場をつくることで、郷土愛を育み、生まれ育った地域に対する誇りをもてる若者を育成する事業として「おおたまコミュニティフェスタ」を開催しています。今年度は、大玉中学校の生徒、大玉村商工会青年部、地域学校協働本部が実行委員となり、10月30日（日）におおたまスポーツクラブ、福島大学学生ボランティアの協力も得て盛大に開催されました。当日の様子については大玉村ホームページ「広報おおたま11月号」内「社会教育だより」のページをご覧ください。

話題のコナー

学校を取り巻く問題が複雑化、多様化しており、学校だけで問題を解決していこうとするのが困難な時代において、これから大事にしたい地域学校協働活動とは、どんな活動なのでしょうか。

地域が学校を支援するという一方の関係だけではなく、学校も地域の活動に参加するなど地域に貢献することにより、地域と学校の強固なパートナーシップを構築しながら、互いに連携・協働する活動

《地域学校協働活動の効果》

子どもにとって

- ・学習意欲が喚起、学力向上の基盤ができる
- ・自己肯定感や思いやりの心が育まれる
- ・地域の担い手としての自覚や社会性が育まれる

地域にとって

- ・地域の教育力が向上する
- ・地域住民の生きがいづくりや自己実現が図れる
- ・地域コミュニティが活性化

＜地域学校協働活動のイメージ図＞

